鐵道協會歡迎號

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄は別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社　電話六六三番
仁川支局　仁川宮町三丁目　振替口座京城四五六番　電話二一一番

移入米 關税撤廢の急務（上）

（波多野承五郎君談）

朝鮮の開發に就ては、從來世間に説く所甚だ尠からざるが如しと雖も、吾人が近頃親しく彼の地を視察せし結果に由れば朝鮮發展の根本義は、朝鮮移入米に對する内地關税を全然撤廢するにありと信ず、夫れ朝鮮の關税制度は日韓合併の際、之を十個年据置くこととなりたれども、此關税の据置とは、是れ外國に對して据置くの意なるべく、之を内地に對しても倶に据置くものなりと解するの甚だ無意義なるを認めざるを得ず、然るに内地移入の際にも、外國米と同時に課税せざる時は、陸續其移入を見、爲めに内地米は暴落するに至るを以て斷然其移入税の撤回を爲す能はざる所以なりと、是れ朝鮮米移入税撤回反對論者の唱ふる所なり

然るに論者の唱ふる所は、全く杞憂にに過ぎず、今從來朝鮮米の内地移入高を見るに、多きは年額七百萬圓、尠きは四百万圓に過ぎず、而して本年七月より實施せらるゝ新關税法に依れば外國米輸入税は、毎百斤に付一圓なれども全く此移入税を撤回すれば、更に多額の移入を見るべきかと云ふに、其當否を明にするには、先づ朝鮮に於ける產米需給の關係を明にするの要あり、朝鮮米の產額は其正確なる額を知るべからずと雖も、從來調査せる者の説を綜合するに、八百萬石乃至一千萬石の間にあり、而して朝鮮の人口を約一千二百万人と假定すれば、我が邦が年々五千萬石内外の產額あるに拘はらず、供給十分ならざるの聲あるを思へは、朝鮮の產米は其内地人に供給して尚十分の餘裕あるものと云ふべからず、又朝鮮人は比較的米食者多きのみならず、將來我が内地人朝鮮に移住する者日に多きを加ふべく、朝鮮に於ける米の需要は益々增加するのみなるなり、且つ滿州方面の開發は日本人、支那人の往來居住をして一層大ならしむるを以て、此方面に於ける朝鮮米の需要も亦增加するのみなれども、其供給は十分なりと云ふべからず、故に縱令關税を撤回すれば、多少内地移入高を多からしむべきが、内地米を壓倒するまでの勢力を以て移入せらるべしと思惟すると能はず

元來朝鮮の農業は、所謂集約的農業ならざると同時に、未開墾地の面積亦大なるを以て、關税にして撤回せられんには、其地元に於ける米價は騰貴すべく、米價にして騰貴せば、現在に於て肥料と云ひて單に堆肥のみなれども、更に金肥を使用するに至り、大に農事の改良を見るは勿論、未開墾地の開拓も亦容易なるべし、是に於てか、朝鮮農民の購買力は、舊日に倍するが故に、我が内地の工業品の需要も亦大に面目を一新すべし、斯る道理を辨へずして、今日彼我の間に一大障壁を設くるは何ぞや、速に之を撤回して彼我の鴻益を圖るべきに非ずや。

●毒草のいろ〱

▲此から秋へかけて、野山に毒草の花が澤山咲く、毒草の花は概して美しいので、小供が弄んでは、口に入れて中毒することが度々ある、今は最も其の毒草の花の多く咲く時分だから、父兄の爲めに、一わたり毒草の話をする。

▲鳥頭　宿根草で秋になると二尺程の高さになる、花の形が丁度伶人の帽子若しくは兜に似てゐるから此の名がある、花の色は濃紫色、深碧色で、それは實に美しい、中には白色のものもあるが、普通は前二色が多い、此の草の毒の最も劇甚なのは根の肥大せる部分である、此の草は花が美くしい爲め、園藝家などは態々植込んで賞美してゐるもある、根は又漢法の藥用になつて昔は調法したものだ、即ち附子と云ふのは此根である、人が若しこれを食ふ時は全身紫色に變じて悶死すると云ふことだ。

▲芹葉鈎吻　水芹よりも大形の草で、矢張池沼などの汀に生へてゐる、人が若し之れを食ふと舌が釣り上つて死ぬ、莖は中空で根の肥大せる部分は筍のやうになつてゐる。

▲毛茛　この草の花の復瓣なのは金鳳花と云ふ、根生葉の丫、圓く、馬蹄の形に似てゐるので、ウマノアシタカとも呼びなす、光澤ある鮮黄色の花で花瓣は五枚、全体に苛烈鋭くが如き毒があつて、試みに葉をもんで皮膚につけるも脹れ上る。

▲仙人草　毒草である、秋になると四瓣白色の花が開く、人が誤つて其の葉を口に入れると毒の爲めに歯が皆脱落してしまふ、故に一名をハコボシとも稱する。

外事一束

△獨逸●聯邦議會は獨逸帝國議會が七月二日閉會となる付七月十六日以前。

△日獨●通商條約成立の場合には他日議會の修正に附する事を條件とし之を實施●し得るの權利を要求せしが帝國議會にても之に付異議なかる可と。

△[illegible]●ドレスデン衛生博覽會日本館の設備完成開館式に撤遜内相臨場す。

△可決●獨逸帝國議會はエルサス、ロートリゲン州の憲法案を通過したり。

△安奉●鐵道缺損高最初九十万圓なりしが今期は二十八万圓以内に減少す。

△佛國●遠征隊が摩洛哥首府フエツス市救援は非常の滿足を以て迎へらる。

△今後●佛國は摩國政府をして苛政の誅求を斷念せしむべしと一般屬望す。

△混亂●墨西哥革命軍首領マデロの黨は大統領チアスを殺せと叫び宮殿に。

△瓦礫●を投じ守備兵は速射砲にて之に應じ多數の革命派を殺傷せるより。

△革命●派は終に暴動の度を高めて御用新聞社を襲ひ社員三名を殺害なし。

△鐵道●は爲に不通となりヂアス氏は首府を出づるを得るや否頗る疑はし。

△葡國●にては共和政治反對の暴動起るべしと豫期せられ人心不安に傾く。

△罷業●葡國オポルトオ港にては一万の紡績職工同盟罷業し形勢不穩也。

△會議●浦鹽斯德港に露國陸相工兵總監來り東清鐵道總裁等と會議せんと。

△和蘭●政府は東洋殖民地防禦計畫を基礎として着々海軍の擴張中なりと。

召使れ初

第六十四回　墨法師



「其處で旦那様、私から御相談申し上げたいことござります、お聞き入れござりませうか」と儀兵衛詞を改めぬ

「什麼か知らぬが、年來厄介になる其處の事、身に協ふことならば聞く、まづ仰せられ」と佐五右衛門は上機嫌なり

「餘事でもござりませぬが、私方にお察どのと申す上女中でござります、これお奥様も御存じでござりまするな」

「お察どのは存じてゐる、何時か一度私方へも佐十郎を尋ねてお越しなされた事があつた、毛利甲斐守様御家中、松田助八殿御息女と云ふ事ぢや」

「それが不思議な御縁から、私どもへお越しなされてをりまする、縹緻は十人並、心柔はは優しう、何事にも御氣が付いて、文字も書かれば、遊藝も一通りは心得、それに吉岡流柔術の達者まこと女に置くは惜いものでござります」

「さうかのう、さほどにお心懸けよく在らせかのう」

「自分お世話申すお方を褒めるではござりませぬが、それは〱感心なお方此方お娘様もお察どのはどのお味方が一人わらせいますと、どれほどお力になるかも知れませぬ、御存じもござりませうが濱田様お奥には澤野様といふ怖しい岳母様在らせござりまするで騎

「さうぢやとの、私もそれを心配してあるぢやわの」とお力は吐息の中に云ふ

「そこで私の思案でござりまするが、お道様も只今では若年寄れ役、お召使いも置かせられねばなりませぬ、いつそお察どのをさし上げなば、どうあらふかと心得ます、旦那様奥様御同心はござりませぬか」

「お察どのなら申し分はない、然しお越し下されうか」とお力は満足の聲なり

「當人もそれを望み、私も好い御縁と思いまするで、實の處その御相談に參つたのでござります」

「左様であつたか」と佐五左衛門も歡はしげに「萬事貴公に任せて置く」

「さらば旦那様奥様御同意の旨、お道様へ申し上げて仔細ござりませぬな」

「とんと構はぬ」と佐五右衛門は頷いて「時に儀兵衛、久しぶり酒を遣てある處、うなた一獻參らぬか」

此時次の間にて忍び寄る人の足音聞ゆれり、お力は早くも聞付け

「誰ぢや〱」

「私でござります」と有るかなきかの聲に答へて襖の陰に平伏すは佐十郎なり、佐五右衛門は見も返らず

「誰ぢや、佐十郎でないか」



「面目次第もござりませぬ」

「又聞く挨拶、何時歸つても面目ある詞のつた事がない、儀兵衛どのゝ來らせ、ちと恥辱を知らせいの」

「什麼様仰せでござりましても、一言返へす詞でござりませぬ」と疊へ額をすり付ける、見すぼらしき風体、黒龍紋の小袖の肩口は破れ、頬髭生ひのび、目の色は血走りて、二目とも見られ難き様、お力はハラ〱と涙を流して

「お前、そのやうな風俗をして、よく家へ歸つたの、まだ知るまい、お道は女ながら濱田公奥方に召出されて、三十石の御知行、若年寄になつたわの」

「わ〜」と佐十郎は吃驚して「お道がお召出しに……そりや眞個でござりまするか」

京城新報

鮮鐵運賃低減に反對の妄言

朝鮮鐵道運賃低減問題は、朝鮮產業の發達を促し、朝鮮人をして文明の恩[illegible]

[illegible]

東京電報（二十九日）

●北海道損害 [illegible]

●大藏證券賣切 去る二十三日[illegible]

●幼年學校臨幸中止 [illegible]

●千哩競爭決着 [illegible]

●特志看護婦大會 [illegible]

●長距離電話增設 遞信省にては[illegible]

●山縣總監の着京 山縣政務總監は廿八日午後二時二十[illegible]停車場にては桂首相[illegible]迎盛んなり

●總監の萩原邸弔 別項記載の[illegible]監は着京後直ちに自[illegible]後萩原邸に赴き弔問

●朝統治の奏上 山縣政務總[illegible]上朝鮮統治に關して

日銀總裁以下更迭

[illegible]總裁辭表を提出し高橋[illegible]り水町財務官は日銀[illegible]金銀わ頭取は三島彌[illegible]取は井上準之助氏に[illegible]を以て發表さるべし

●鎭海灣の大演習 [illegible]第一艦隊は[illegible]賀に赴き夫より大港[illegible]於て特命檢閲を受け[illegible]に於て艦隊射擊大演[illegible]一艦隊は同時期に於[illegible]戰鬪射擊演習を擧行

產業組合總數

農商務[illegible]る全國產業組合總數[illegible]一にして本邦の郡數[illegible]し一郡平均一二、二

●市町村制改正實施期 第廿七[illegible]議たる改正市町村制[illegible]を以て實施さるべく[illegible]て內務省にては目下[illegible]改正に伴ふ事務緊閑[illegible]等に就て講究せしめ[illegible]は市町村制改正に伴[illegible]度に付審議しつゝあ[illegible]期日と共に發布せら

鐵道協會員招待

既報の[illegible]二十九日午後七時よ[illegible]會 正會員末延副會[illegible]待し晩餐會を開き

關東塩輸入の增加

[illegible]滿韓鹽業大日本鹽[illegible]盛んに製造しつゝあ[illegible]なる朝鮮は天日製[illegible]他に於ける清國鹽[illegible]輸入は頗る豫期に[illegible]鹽非常に停滯し殊[illegible]輸り税を徵收する[illegible]鹽と競爭する能は[illegible]絕望の姿なりしが[illegible]以支那ジャンクの[illegible]つて關東鹽の輸入數分減少したるため關東鹽俄かに勢を得仁川群山方面へ俄かに販路を擴張し本年二月頃より昨今迄に約五百萬斤の輸入を見たりと云ふ

●各道授產計劃（三）

——慶尙南道……

▲同道の現勢 慶尙南道は二府二十七郡を管轄し總面積七百八十八方里と稱す又人口は百三十四萬二千三百三十六人を有し其稠密なる蓋し全道中第二位に在り而して耕地面積は十二萬五千七百三十八町にして之に從事する農民百十萬人則ち約八割の多數を示せり次ぎは水產業にして其沿岸線二府十郡の廣きに亘たり漁民の現在約二万漁船の數實に二千八百隻の多きを算せり

▲授產の主体 たる兩班は千二百九十二人儒生は二百五十七人にして配付を受けし恩賜公債額は百六十万三千圓此利子八萬三百圓の內四万八千百八十圓を以て授產事業を計劃す

▲計劃の大要 以上の如く同道は農業及漁業が其產業の主なるものなり故に授產の計劃も專ら之に重きを置き普通農事に關する授產を第一とし水產に關する事業を其次に、擇び養蠶若くは製紙事業は元來素養ある地方に限り之を鄕營する事に定む

▲農事の方面 農業に關する授產計畫は蠶業傳習所に男六十八人女二十八人を收容し又機業は男四十人製紙男四十人繩叺製造男六十八人を民設講習に委托して實習せしめ其他桑苗楮苗桐苗甘藷苗を普ねく配與し其發達を促がし又家畜の改良を計らん爲め種鷄種豚の配付をなす筈なり

▲漁業の改良 漁業の改良發達を期せん爲め男十八人を民設講習所に委托して海苔の製法を實習せしめ又漁撈には蛸壺二十一人分磯刺網三十九人分太刀魚延網五十六人分を配付し實地の指導を爲さしむ更に四個處の造船傳習所を設け一ヶ所に十二人宛の生徒を收容し地方費事業として之に補助を交付し內地型漁船の新造を爲さしめ造船工を養成す

●京畿徵稅好成績 昨四十三年度に於ける一般徵稅の締切りは本五月末日限りなるが京畿道管內の如きは殆んど全部徵收濟にして四十四年度に繰越しすべきは極めて少額に過ぎずと云ふ

●片岡氏等電車視察 鐵道協會出席のため入京中なる山中隣之助片岡直溫の兩氏は何れも日韓瓦斯の大株主なる爲廿八日總會終了後東京電鐵磯部保水等と共に淸凉里麻浦新舊龍山等の各電車線を視察 會社より岡支配人案內したりと云ふ

●選擧人名簿調製 京城日本人商業會議所議員半數改選は來る六月下旬施行すべきに付豫て選擧人名簿調製中なりしが此の程漸く該調査を終了したるが有權者總數五百八十餘名にして同名簿は來月五六日頃より一般の縱覽に供すべしと云ふ

●民團の寄贈冊子 京城民團にては滯京中の鐵道協會員に對し本日「京城居留民團管內要覽」と題する新刊の三百五十部を寄贈せり

●愛婦會軍隊慰問

愛國婦人會朝鮮本部にては三十日三十一日の兩日午後六時半より龍山駐箚軍慰問會を催す筈にて當日は高峰筑風の筑前琵琶演奏及本部特有の活動寫眞の撮影をなすべく尙此際朝鮮駐箚衛戍病院收容の傷病兵慰問をも行ふべし

▲人さま〲▼（四十二）

塚原友太郎君

如何な人間も京城地方裁判所刑事部々長塚原閻魔大王の前に引き出されてはモウれ仕舞だ、見よ京城監獄に繫がれて居る幾百千の赭衣漢、其大抵は大王殿下の斷獄に預つて恐れ入りましたのである、君は私立學校出身であるが、極めて頭腦明晰で殊に刑事の審問と來ては拔群の技倆を示めして居る、彼の李在明等二十餘名に係かる李完用暗殺の大事件を、タッタ一日の審理で造作もなく行つ付けた處なぞ、唯だ〱驚嘆の外はない、夫れで其審問の工合が實に輕妙でギウ〱急處を衝くもんだから快刀竹を割るが如く解決して行く、而して審問將さに佳境に入るや、由良さんの樣な手つきをするのが頗る振つて居る。

●大屋邸園遊會

朝鮮鐵道局長官大屋權平氏の鐵道協會及び京城朝野の紳士を招待せる大園遊會は既報の如く二十九日午後三時より同長官邸に於て催ふされ寺內總督大久保大將總督府各部長官各國領事を始め五百餘名の來賓は定刻前に參着やがて時刻となるや數十發の煙花は中天に響き模擬店の開始を報じ續いて妓生朝鮮芝居同輸業少年劍舞等の餘興演ぜられ來賓隨意に觀樂を恣にし午後四時となるや食堂開始され第一爆竹を相圖に朝鮮王族、勅任官同待遇者各國領事、鐵道協會員及び婦人連入場し午後四時十分第二爆竹を相圖に一般來賓入場し立食の饗應あり大屋長官の挨拶に次いで鐵道協會々長末延道成氏の答辭ありて後一同三鞭の乾杯をして後宮司法部長官の發聲にて帝國鐵道協會萬歲を三唱し各々快を盡し午後五時卅分頃散會せり

●鮮人辯護士試驗規則の發布 總督府令第六十二號を以て朝鮮人辯護士試驗規則を發布されたるが受驗者の資格は滿二十歲以上の男子にして法律專門の學校にて三年以上法律學を修めたる者なる事とし試驗手數料は十圓試驗科目は政治、商法、刑法、民刑事訴訟法、行政法及國際法の筆記及口答試驗とし五月廿九日より實施さる

●原氏一行の消息 二十八日朝當地を出發したる原敬、濟岑太郎、高橋光威氏の一行は馬山に一泊し二十九日午前鎭海灣縣洞等を視察し午後四時五十分釜山着同五時官民の歡迎會に臨み同夜出帆の連絡船にて直路東上したり

●井上角五郎氏の出發 滯京中なりし代議士井上角五郎氏は二十九日午前九時南大門發列車にて東上したり

●小川代議士の出發 滯京中の代議士小川平吉氏は三十一日出發歸東の筈

●檜垣道長官歸任 檜垣道長官には豫定の如く管內の視察を了へ二十九日午後永登浦を經て歸廳せり

●米領事歸任 去月來北京滯在中の京城駐在米國領事ビユロー氏は書記二名を隨へ安奉線を經て去二十七日夜歸任せり

●英國武官の入京 英國陸軍大尉トランコーリ氏は南滿線、安奉線沿道に於ける日露戰跡の視察を了へ二十七日夜入京せり

●仁川兩校に補助

仁川民團に於ては豫て仁川民團立商業學校及同仁川實科高等女學校に對し其筋に補助金下附申請中の處去十八日附を以て總督府より兩校に對し一ヶ年八百圓を補助さるゝ事に決定通牒ありしと

●藤原書記官の出發 藤原書記官は既報の如く廿九日出發南鮮地方へ出張す

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
五月廿九日	一六二、二六八、八〇〇	五三〇

公人 私人

▲阪口喜助（法學士）旭町二丁目牧山方
▲[illegible]太郎（大阪新聞記者）明治旅館へ
▲堀澤倉吉（技師）群山行
▲安藤謙介（漁業社長）釜山行
▲濟岑太郎（代議士）同
▲井上角五郎（代議士）本日釜山行
▲高橋光威（代議士）釜山行
▲原敬（代議士）同
▲志賀直溫（帝國保險取締役）平壤行

▲仁川港出入船舶▼
▲福州丸 三十日大阪より入港
▲洋州丸 同 橫濱より入港
▲湖州丸 同 門司より入港
▲信濃川丸 同 大阪より入港
▲秀吉丸 同 同
▲洋州丸 同 橫濱へ向出港
▲福州丸 同 安東縣へ出港
▲長州丸 同 大連へ向出港
▲信濃川丸 同 大阪へ向出港

▲京龍兩驛の貨客▼
▲南大門驛乘降客 廿八日の分
乘車客 七三九 下車客 一一六六
乘車賃金 一、〇六九、七五
▲南大門驛荷扱高 廿八日の分
發送 九〇噸 到着 二〇〇噸
貨物賃金 三七六、〇〇
▲龍山驛乘降客 廿八日の分
乘車客 三一四 下車客 二九八
乘車賃金 二九八、二九
▲龍山驛荷扱高 廿八日の分
發送 三噸 到着 三噸
貨物賃金 一六、三五

內地巡禮日記（二）

水浪生

五月三日午前六時半余は寺內總督の隨行で永田町陸軍大臣の官邸へと出掛けた、門は既に開け、大小の書生は玄關口の掃除に忙がはしく、刺を通ずれば已に主人より命があつしと見ね、ドーゾコチラへと掃除した許りの控所へ請じられた、ソウコーする中に詰掛けて來た約束の面會人、其色別を云へば軍人、實業家、代議士、役人、其他合せて十人、其中には前度支部財務監督局長小林丑君もあつた、續いて入り來つたのが兒玉秘書官、津野中佐、藤田大尉等だ、而して之等の三人は一吹して後ち控所の次ぎなる事務室へと消われた。

一書生來り告げて曰く大臣がれ目に掛りますと、まづ第一に頭の禿げた天神髯の大佐を案內した、次が離れ、次が彼れ、順次に案內されて、長きも五分間短きは三分間位で玄關口へと出でた、最後に案內されたのが余だ、余は應接間の中央に控ねたる軍服姿の總督に相對して椅子に掛けた。

余は總督に向かつて一應の挨拶を了り而して後ち半島經營に關する在鮮被治者側の所見、所感を逐次總督に開陳した、余は談話の切目に總督に所陳に答へんことを促した、余は重ねて質した、總督は重ねて答へた、質疑應答に二時間餘、總督は余の所陳を全然是認したるに非ず、余亦た總督の所答に全然首肯したるに非ず、而かも治者と被治者との相違はあれ、均しく是れ念とする所は新附士民の督、質疑應答必ずしも無益ではなかつた。談話を了りしは殆んど十時半、主人の總督は朝飯前である、而して客たる余もまた同じくである、食を忘れて談ずるなどはコンナ場合の事だ、一書生が紅茶を運んで來た、余は薦めらるゝ儘に其一碗を傾けツウして時計を出して見ると餘りの長座に氣が付き何れ亦歸鮮の上でと總督に暇を告げて辭した

想起す四十年の二月、余は今回總督を訪へると同樣の意味を以て故伊藤公を大磯の滄浪閣に訪ふた、其時公は余の所陳に對し諄々答ふる三時間、所說はドーあれ其懇篤さと親切とは余をして[illegible]公なりと思はしめた、序に言ふが余は故曾禰子に對しては何等意見を戰はさずして了つた、何ぞなれば余に朽木を彫するの勇氣が無かつたのと、京城の[illegible]のなる態度に聊かならず度胸を拔かれたからだ。

今や寒畝、西湖、此世に在らず、而かも舊庵とて百年の壽を保つべくもあらず、上陛下の御信任に應へ、下半島被治者の福祉增進に勉むべきは即ち今だ。

▲治外法權▼

法權子筆を乾かせし事殆ど十日、此間茶袋子が好意を以て當欄を受持つて呉れた、而るに便宜上留守居を賴まれた茶袋子は今や氣を爾し當欄の本主人と讀者から目さるゝまでになつた▲法權子歸つて來て吃驚一番、妥協の結果辛ふじて法權の一部を恢復した、ソレで今後は茶袋子と代り代りに讀者に見ゆることゝなつた▲商會聯合會、鐵道協會總會、サテは何々觀光團、內地からの御客さんが澤山見えたのは結構の事だ、只慨むらくは之等れ客さんに對して我京城が滿足を與ふる程の接待の設備を有せざることを▲寄語す、民長や會議所會頭や現在の交際費では到底、れ客さん接待の衝に當るべくもあらずだ、ドーカ今後は民役所と會議所とには馬車か自動車の四五臺位は備へて置く樣にしたいものだ▲鐵道協會園遊會の立食に於て寺內總督はユルユル御歡談を三遍繰返した、立食のユルユル御歡談、足が棒になりソウだと逃出した者もあつた▲來京中の馬越恭平には自動車約束と云ふ綽名がある、彼れ他と會合時間の約束をなし、若し後るれば自働車のタイヤが破損しましてねと言譯をする、一度、二度他が本當にする、十度二十度となるに迨んで自働車約束の綽名を甘受せざるを得ない事になつた▲馬越と云へば彼れは大日本ビールの社長だ、今やキリンの重役米井も來京中だ、今年しやビールの當り年、滿を引いて大に總督政治を論ずべしだ▲大屋邸園遊會の立食の答辭に鐵道協會々頭末延道成は丁寧にも事を欠いで總督閣下を始め奉りとヤツた、ソツ奉られては總督も困まらるゝであろう▲夫れに引換へ同園遊會に於ける總督が古城民長に向ひ今日は君の配下ダローが非常に立派な人々が多いニヤッタ、すると民長曰く當意即妙一分の隙なく答へて曰く彼等は凡て私の財源であります。

●土地調査局員等歸任 [illegible]平安南道方面[illegible]小野事務官等何れも廿七日夜歸任せり

●山形中佐の着任 [illegible]山形憲兵中[illegible]

[illegible]勳三等瑞寶章に叙せられたり

[illegible]は二十九日出發鎭南浦方面へ畜產狀況視察のため約四五日の豫定にて出張

●仁川民長の入京 岩崎仁川民長は廿[illegible]の岡崎專務は廿八日擧行せし馬山電燈の開業式參列のため廿七日夜馬山に赴き鐵道協會員園遊會に臨み即日歸仁せり

▲相場電報（二十九日）（明治町西村支店着電）

▲大阪株式（六月限）

▲東京	同	九〇、四〇
▲新株	同	[illegible]
▲大阪	同	[illegible]
▲株式	同	[illegible]
▲取引	同	[illegible]
▲神戶	寄	[illegible]
▲京取	同	[illegible]
▲電鐵	同	[illegible]
▲韓瓦	同	[illegible]
▲電燈	同	[illegible]

▲大阪期米

[illegible]

寄稿 **滊車の旅** 晩香

望くれば十四日之れが旅行の最終日である、宿屋の勘定七十五錢とは聊か高い、然し先づ〳〵安心之からは一文なしでも歸れる、一圓札で二十五錢の釣をポッケットにねぢ込み、廿前七時十分新裝仕立の列車に飛び込んだ、南行列車何時にも似ず滿載の姿、いやはや、うるさい事、沙汰の限でない、歸途は開城へ寄るべく約束したのも時間の都合で水の泡、さぞや先では怒るだろ〳〵、恨むだろ〳〵、我に最愛の妻あらば今日此頃は心ばかりの御馳走でも拵へて待つて居るべきに乍遺憾夢に見る事も出來ないなど、馬鹿な考へを起しつゝ、何時しか、南大門の停車場に着いたのが午後の一時と十三分、流石に旅の勞れも忘れ果て住ひをさして急ぐなる、永の旅路も無事にすまして嬉しさい。(四月十六日稿)

●肺結核の豫防(一) 贊化病院 河野作藏

肺結核は上流下流の別なく共に犯さるゝ所の蔓延せる傳染病なれば其豫防と治療とは實に社會生存に關する一大問題である我が民族にして肺結核の傳染すべく恐るべきものたるを知らざるものは一人もなからん併し漫に恐怖し或は又無頓着なるは何れも非にして肺結核に對する一般の常識なく其當を得ざれば其目的を達し難きものである余は淺學薄才敢て人を導く地位にはあらざるも日常肺結核の慘害を目擊するものなるを以て聊か愚見を開陳して諸君に紹介せんとする強ち無益にあらざるかを信ず

人生の幸福と安寧を希圖せんとせば恐るべき此病毒と戰鬪せねばならぬ交通機關の不備にして生存場裡の競爭少く一般質素で貧乏で世事が簡單であつた時代はいざ知らず交通頻繁となり多人數の集合團体は到る處にありて生活は贅澤となり從て困難となり世事が複雜を極め身体と精神を過勞せねばならぬ現世は肺結○の蔓延を劇甚ならしむるのである世運の發達と共に增加する傾向あるは誠に嘆すべきの至りである結○若し靈あらば其毒力を逞しく人生を喰ひ盡すの期近きを喜ぶならんされど萬物の靈長たる人類は彼れの魔劍を打折て其根を斷つべき力なきにあらず其力とは他にあらず學問の進步即醫者の眞理に持たねばならぬ其方法換言すれば豫防、第一國家的に之を講ずること第二熟練なる醫師の初期結核と確診すること第三人民が結核の何物たるを會得するの智識ありて此三者が協同一致することが必用である何となれば政府が骨を折て種々の取締規則を發布しても人民にして之を履行せざれば其効なく法あれども空文に均しく又如何に熱狂なる醫師があつても醫は言を用ひず之を實行するの勇氣と思慮がなくては何の益にもならぬのである。よつて肺結核を如何なる勢力を以て人生を襲撃しつゝあるか其猖々たる炎の毒舌を以て人生を舐め弄ぶの其慘狀及豫防は如何に講ずべきか順序として原因、傳染遺傳及素因症狀を前提として豫防に論及せん

緊急廣告

◎葛月里靈泉場區域内 貸地貳千坪

但し家屋建築希望者は便宜月賦方法により御申込に應じ御相談可申候

四月十八日發行諸新聞紙に掲載せられ南大門外陸軍練兵場前室町二丁目に古來靈泉噴出し近來葛月里と稱し發見せられたるを以て諸般設備可仕候に付き一大遊園として一般に開放の上御便宜を圖るは勿論……約二千坪を限り……希望に應じ貸地豫約可申込被下度候也

◎豫約申込期日は五月三十一日限り〆切可申候

京城古市町一藤原内（電話八五八）
葛月里靈泉場

京城太平町一（電話二二二番）
建築事務所

申込所
永樂町一丁目商工部上（電話八六）
多田不動産信託所

同　吉田定吉

龍山元町三丁目（電話六六五番）
同　正木岩三郎

別製 鐵花味噌賣出

御料理向

仁川本町三丁目
たからや
電話七三七番

弦齋流割烹
す津祢
南山町一丁目
電話千五百二番

長崎流
○しるこ
○茶碗むし
○むし壽し
（出前も御好に應じ可申候）
南山町二丁目（南山渦上ル）
松その
（電話一一八五番）

入院隨意
内外科
小兒病
梅毒淋病
高井醫院
京城壽町三丁目
電話（二二六）
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

朝鮮名産
鶴乃箸
○鶴の骨細工種々
○鶴の羽細工種々
○朝鮮土産品種々
製造發賣元 京城本町三丁目 電話二五〇 振替朝鮮四八 海市商會
特約發賣元 京城本町四丁目 電話九五六 日之出商行
特約發賣元 京城本町六丁目 電話二一〇 西崎本店

來れり
寫眞撮影の時季
幻燈器械
寫眞器械
藥品材料一切
旅行用娯樂用營業用
直輸入
京城本町四丁目
織居寫眞機部
電話二六二番
振替貯金二一三番

優等
清酒

文房具
和洋紙
測量器械
シノサキ本店
京城本町一丁目郵便局前
並賣次營業中候
電話六四八番
振替朝鮮一五四番

溫泉湯
きゝめのある
此の溫泉は左の如き病に最も妙なり
一かゝけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひふ病、梅毒、りん病、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せんき、腸胃加答兒、肺病、ひんけつ症、きりきず、其他内用には鐵冷溫泉を併用すれば尤も効能あり
旅館 貸席
浴客
長谷川町一丁目韓銀建築所北横手 電話一四一二番
鐵冷溫泉

朝鮮牛種及牛乳改良元祖
消毒純良
高等牛乳
當場飼畜の乳牛は悉くエーアシャ、ゼルシ、ホルスタインの最も優秀なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり
當場畜舍及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし
京城南大門外
荒井牧場
（電話一〇五六番）
龍山本町三丁目
龍山販賣所
（電話二〇二番）
當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候
當場には御進物用牛乳切手發賣致候
其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候

紙と印刷
諸紙
和洋帳簿
印刷
各種製本
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

上等清酒



釀造發賣元
仁川港
吉金酒店
電話七六四番

英國セフヒールド市シーボムアンドデイキスタル製鋼會社特約品
鑛山用 地球鷲印八角鋼
道具用 同 角鹽鋼
職工用 同 鑛各種
右は朝鮮一手販賣罷在候處鮮地に於ける材料製具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦内地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候
京城本町五丁目
和洋金物商
釘本藤次郎本店
（電話四五番 電信略號「ク」）
振替貯金口座京城二五六番

M.C.C.
土耳古煙草
エムシーシー
專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣
京城、平壤、鎭南浦……釜山、木浦、群山 高瀨支店

牛馬犬猫治療所
入院隨意
京城明治町三丁目
小川家畜醫院
院長 小川龜太郎
（電話四二七番）

諸紙諸帳簿
柳行李雨傘
襖紙文具類
名刺臺紙
右精々勉強可仕候間多少に不拘續々御用仰付被下度伏而奉願上候
●追て市内は電話にて御用命被下候へば早速持參可仕候
●地方は御注文次第迅速に御送付申上候
仁川新町三丁目
野田紙店
電話四四番 電略（ノ）又ハ（ノタ）
振替口座（京城三六二番）

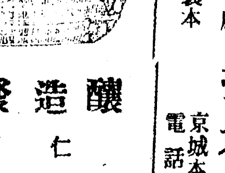
弊館には夜警の設備有り
御客樣の安全此の上なし
陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水産組合指定旅館
各保險會社指定旅館
仁川海岸
旭屋旅館
電話二五一

S.K.S
土耳古煙草
エスケーエス
專賣局定價一號金六圓二號金五圓
京城辻屋、龍山貴田、木浦冲永、馬山西川
オチ商會
電話七三八 電略オケ

米國スタンダード製松印石油
下總國野田⊕印醬油
仁川日本醬油株式會社製⊕印醬油
下總國万上印味淋
尾張名古屋⊗印塲詰
汗浦根炭及日本木炭酢
英米煙草會社製品各種
神戸株式會社布引礦泉所製馬蹄印
豐後湯の花精製品（入浴用）
湯の花菓子（茶用）瓶詰各種
灘銘酒櫻正宗山邑釀造
堅牢無比の國譽足袋
特約店
雜貨部 京城本町六丁目 今藤富國太郎本店
貿易部 京城南大門市場 藤富國出張所
木炭部 京城永樂町二丁目 藤富國出張所
其他和洋酒、米、麥、石炭、みかん、洋臘、瓦煉瓦、明太魚、鰊昆布、罐詰、千香、甘他乾物類一式
電話三〇八番
電略（ク）

純良消毒牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話千六十九番

寫眞
當分の間定價の半額
京城本町四丁目
（貸化病院前）
河合寫眞館



仁川山根町
韓國銀行舍宅下
養雞場
●白毛冠黑色ポーランド
●ノーモルガン系黑ミノルカ
●スミス系橫斑プリモースロック
●クック系黑色オーピントン
●フエリッチ系銀色ワイヤンドット
●新輸入ウーダン
右種禽種卵御希望の方には分讓す

最上醬油
特約販賣
仁川京城
高雄支店

美山公州間定期出帆廣告
美江發毎日後一時四十分公州着後六時
公州發毎日前七時美江着後四時
御客樣の御娯樂用として新聞雜誌其他將棋盤等の備付あり
京釜美江驛前
中條運送美江支店

キ
五月中
瀛船出帆廣告
長州行 天草丸 日、日、日
天草丸 日、日、日
三菱丸 日、日、日
里浦屯串行 三省丸 日、日、日
機島行 敷島丸 日
千葉丸 日
仁川本町四丁目
合資會社 秋田商會船舶部
電話一七三番七五〇番

小野事務官等何れも廿七日夜歸任せらる
●山形中佐●定期昇勤、山形憲兵中佐は今回武官定期叙勤の發表と同時に

勸業模範場技師の出張　農商務省の技師は二十九日出發鎭南浦方面へ畜産視察のため約四五日の豫定にて出張
●岡崎專務、馬山行　日韓瓦斯會社

●仁川民長の入京　岩崎仁川民長は廿九日京城大學校道管理局長邸に於ける……開業式參列のため廿七日夜馬山に赴き

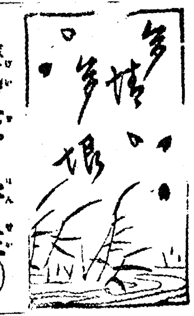
▲株式市況（二十九日）（明治町西村支店調）
▲大阪株式　六月限（前場）（後場）
▲株式　一四五〇　五七、三〇
▲新株　一一六、一〇　九六、六〇
▲收引所　三三、五〇　一〇二、四〇
▲神戸　三三、六〇　一二二、二〇
▲電燈　同
▲大阪期米　廿九日前場　五月　一〇二、九〇　一〇四、〇〇
五月十七圓六錢▲止　寄十一圓二十八錢▲最高二十九錢▲最
▲仁川米豆取引　廿九日前場　五六月出來不申▲七月
▲止不明▲七月寄十八錢▲止十九錢

●取消申込

明治四十四年五月廿八日當社發行第六百八十八號第三面掲載「山道亞川子喚問さるとの記事は全然虛構にて迷惑千萬に御座候間直に取消し相成度候也　明治四十四年五月廿八日　京城大和町一丁目百卅九山道亞川　印　京城新報社御中

●取消申込に就き

二十八日附發行本紙第三面欄に「山道亞川子喚問さる」と題して報道したる記事は同氏より取消申込（別項所載）に接し精探の結果本紙の誤報に相違なきことを確め得たるが右は山道氏が何等かの事件にて告訴か告發かを受け居らるゝ事實あるに際り二十七日喚問せられたりとの噂を耳にしたるを以て取敢へず報道したる迄なる事を附記して不日事實分明すべきに俟つ



京城藝妓の半生（廿一）
清華亭の金五郎（一）

姉さん達は格別私より若い人達が話したのに履歴話しがない筈はないと理屈、實ぁ閉口します、妾は生れ落ちてから理屈と芋飯が大嫌ひですの、愛嬌があつて仰云るのれ世辭でも嬉しいワ其の褒美に酌を致しませう何うでれ語は貴郎の物なんだからホホホ、エ其の笑ふ口許に何とも云へぬ味がある巧手な貴郎でも直に妾の緻縹は褒めると……何うも有難う、併し何程褒めても方法がないと見へて口許、口許つて土瓶屋の若い衆さん見た如に口許斗り氣にして在つしやるワね、イ、エ何んと仰云つても駄目京城にだつて鏡があり ますもの、マア礼酌を爲せて下さいね泥が無いんですよ、何ですつて前がと仰云つたつて砂川で育つた蜆で吐く其様に話を脇道へ外らさずと泥を吐け

お醫者様を素破抜く

て、夫りや罪よ妾は此樣稼業をして居るから何うでも良いけど彼方にれ氣の毒よ、ね、精々白狀しますから夫れ丈けは御願ひです、ヘエー廣島市

袋町の生れで本名が海原きぬ、當年二十四歲の女盛り、

十五の春廣中券番から

千代子と名乘つて出て居る間に
比治山町の材木屋

佐々木一と云ふ三十男と最負になり其の年の秋世話に成る事になつて十七の春に

三月身受

けされて袋町に圍れて居た迄は話を聞かないでも知つて居るぞね、恐ろしいわね貴郎は、全体何うして御存じですか、ヘエー世間は廣い如で狹いものですね、ヘエー、夫れにしても夫れ程れ委しい貴郎は廣島で在しやるんぢやなくつて、エ貴郎、何です、他人の身の上なぞ聞かなくとも可いから自身の成行を饒舌れとね、夫れが御尤ものれ話しです、ちや話しますがね少々曖昧な所は都合があるから洗ひ立てを爲すつちや困りますよ、其の

後都合

があつて、都合ですよ、同じ都合の出様が早いどねホホ、、同じ廣中券番から

駒太郎

と名を改めて披露目たの、元より都合があつて公然佐々木さんとは別れたものゝ藝妓としては相變らず御最負に與ることと以前の通りでしたが其の内に本川町の

石井運送屋の弟

權次郎（當時二十二歲）さんにも特別御世話になることになつて見ると佐々木さんの方は何んだか親の如な氣がするので若い石井さんの方を大切にして居ました、決して移り氣と云ふ次第ではないので人情が然らしめたのですね、處がです此方は此の人ならと思ひ込んで賦を運ばれど石井さんナカ〳〵の

浮氣男

で妾の外に同券番の

重千代

さん

米千代

さんの二人迄に關係して居たのですがね、腕があると云ふのでしよう

三方巧く繰

るものだから

一人好運

の三人少つとも

感着

かず三人が三人皆んな自分の旦那の積りで納り返つて居た所跡からくると顏々馬鹿〳〵しいぢやありませんか併し三人は夫れで納つて居るが世間の嘲が承知しない

遂々

夫れが

露現

に及んだの、惡い事は永續きは致ません、天網恢々疎にして漏らさず……とでも云ふのですか、と飛んでもない所へ天網恢々をクッ着けて笑つて居る。（つゞく）

一女振り（十六）

ドクトル　中村安子

安子女史は去る四十年十月當地本町六丁目に開業せられた齒科醫である、同時の京城齒科醫には有資格者が極めて少なかつたものだ、だから女史の開業は頗る宜きに適ふた、夫れ既に然る上に米國にペンシルヴエニア州の齒科大學校卒業生でドクトル、オブ、デンタル、サーゼリーと云ふ學位を有する女醫であると云ふ事と英語を縱横に繰らるゝものだから鮮人は元より特に外國人なぞも通譯の不自由なきを喜んで其の診療を受くる事になつた現に仁川から數名の外國人が通院して居る、本年四十四だ相であるが年齡に比してズウーツと若い、御良人は榊忠司氏と申す、十三年前東京築地の天主敎會で華燭の典を擧げられたのだが其後榊家の戶主死亡せられて相續者がない爲め戶籍丈け實家に返されたのだと、れ子さんが一人、十五才の茂子さんは養女で八千代子さんは御實子であるが本年七歲女史は和洋酒ともに少々は飲る、煙草は葉卷に限る、御生國は千葉縣山武郡と承知する、千葉町御在住の節は愛國婦人會幹事として活動されたものである。

●親の心子知

らず　本町三丁目秋吉常太郎氏長男常藏は繼母の世になりし以來遊蕩淫逸に耽り新町遊廓等にて屢々沈沒して父に心配掛ける事多く親に愛想付かされ居る由なるが二十五日夜も懷中無文にて新町玉家に登樓して遊興費支拂へず告訴されたりと秋吉氏の心中左こそ思ひ遣らる

●仁川港の艀難破

仁川慶田組艀部の取扱に係る艀船第十九丸は去二十三日入港せし滊船第三辰丸より淺野セメント小樽二千四百樽の内三百六十

●葛月里

靈泉分析表

龍山葛月里より一種陸軍衞兵塲の前側なる葛月里より一種鑛泉湧出する事は屢本紙の報せし處なるが今回農商工部商工局の依頼に依り中川照雄氏分析の結果左の如し
清濁－微濁　色－淡靑　味－弱鹹　臭－無し　反應－中性
石灰〇、〇六二二、マクチシヤ〇、〇二二〇、加里〇、〇一二八、曹達〇、〇六七八、硫酸〇、〇〇九八、鹽素〇、〇八八七、硅酸〇、〇四七一、炭酸全量〇、〇八二七、礬石〇、〇〇六二、鐵〇、〇〇六九、游離炭酸〇、〇六九三（以上千分中）
留浴用としては皮膚病衰弱諸病に內用としては胃腸補血等に効力あり又淸涼劑としても有効なりと

樽を積取り廿六日午前三時頃仁川停車塲九水道局海岸へ陸揚の爲め航船目的地へ繫留せんとす折しも引潮の流れ激しく爲に岩上へ衝觸し船員の盡力及び陸上よりの助力効なく遂に坐礁船底一ヶ所大破壞を生じ爲めに積荷の内八十五樽濡損を生じたりと

●兩班の無罪放免

西部齊坡町居住韓鎭圭（五四）中部豆錫洞申泰熙（四六）西部社稷洞金錫圭（三二）の三名は何れも兩班なるが大韓婦人實業商會なる資本金なき法人として存在を認められざるもの事務員として其の名目に數百圓を詐取したりとて其筋に檢擧され京城地方裁判所に於て公開せられしが塚原裁判長の公明なる審理に因り無罪となりたり

●過料十圓に言渡

春川府街居住貿易商增田信太郎が春川郡守を土地證明の遲延し廉より侮辱したる事件は春川區裁判所に於て拘留二十日に處せられしを不服として控訴中なりし事は既報の如くなるが京城地方裁判所にて前判決を取消し過料十圓に言渡さる

●遺失と拾得

仁川栗木洞二十三統九戶吳敬順は廿八日午前十時頃花町二丁目より寺町一丁目小學校下の道路に於て金五十二錢五厘入の財布を遺失す▲仁川寺町二丁目佐藤常三郎は同日午後三時半寺町一丁目避病院下新道路に於て貸人一個金具付を拾得し屆出づ

●鮮人の迷兒

廿八日仁川京町一丁目魚市場附近に鮮童兒四才位の者迷兒となり泣居たるより京町派出所に保護し置一方實家を諸方に問合せたる處內洞九統七戶廉方順長男老味（四つ）と判明し實父を呼出して引渡したり

●怪我

北部齋洞十七統六戶孫秉熙方居住平野久四郎（三五）は南大門驛前に於て馬に蹴られて負傷せりと

●出火

南部罷仲坊仁峴六四統九戶羅新三方より出火したるも直に消止む

哀れな女を救ひ玉へ（下）

〇〇內　みち子

今日此頃妾いたちの稼業がやかましくなつて親方は抱女を田舍へやるか女郎に賣るかあくまで强慾の眼を光らしていくら工風をしても娼妓に仕替に出すには親の承諾がいるさりとて田舍へやればたくさんな金をかける人がなく其中でつねから親方ににくまれていた妾いをどふ魂丹をしたものか表向き酌婦を廢業させて飲食店の部類〇〇やの給仕女に仕替をとられ酌婦を云ふ正札とすなければ毎日夕方かられ湯にはいりてつてりした厚化粧の白首となりわざと往來から見へ透くとこゐに張見世同樣客を釣り飲み喰ひに這入つて來る男のまして遊もてんならうちへ來る男が擾けて呉れるようなことはれまへんさかい此上は御上の御なさけにて飲食店に妾いのような曖昧な遊皮のむけたような白粉をつけた怪しい女を給仕とか雇女とかに置くことを嚴しく御禁制の御布令を出して御役人が絶へず御臨檢なされば此の飲食店洋實の跡を絶ち自ら市内の風紀も正しく結構になれば妾い等の身も助かりてよのゝ嬉しく思ひます涙ある旦那樣方御通り掛りに妾いのなまめいた淺猿しい姿を御瞥見なされたら不幸なものと一掬御同情を賜らば御嬉しく思ひ侍り候　かしく

●演藝だより

●筑風氏の慰問演奏　愛國婦人會よりの依囑にて來京滯在中の筑前琵琶名手高峯筑風氏は同會の依頼に應じ三十一日の兩日龍山駐劄軍隊を訪問し慰問演奏を爲す由尚は六月三四の兩日壽座に於て公開演奏を爲す由なり

●壽座　曾我廼家一派三十日の藝題は一番目梁島川二番目破れ三味線三番目看板娘四番目親子の花にして愛劇家の御すゝめに依り三十一日迄日延べ

●浪花館　浪花節京山若圓一座乘込み三十日より花々敷く開演尙三十一日の語り物は辨慶勸進帳安宅の關所（日本軒雲龍）人情裁判梅山大佐（東洋軒三笠）血淚傳義俠鐵、たぬま及傷、大和探義士面影（京山若圓）



にも客が泊ることの出來ぬだけでしかも宵から二時ごろまでいりかわりたちかわり來る客が早いは一時間遲いは十二時過ぎ迄も遊んでゆくので妾いたちのからだのつかれるのどやねいことはたまつたものでたまさんまで犬猫のような弄されつらい悲しい淺猿しい身の上になり

ために否たない世辭や色目で酌、相手となつて際どい猥褻まで見せてやらねば客のうけがわるく親方のきげんもわるいのでいや〳〵ながら媚態とまけ仲居でせねばならず無屆無鑑札の給仕すこしも違わずたゞちかのうは客が泊

東京支局設置

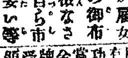
本社は今回業務の擴張を圖らんが爲め本社支局を左記の地に設置仕候に付何卒本社同樣御引立相成度謹告仕候也

東京市京橋區南佐柄木町七番地
京城新報社支局
支局主任　木村邦吉
電話新橋八七三番

友人井上雅二君歐米漫遊を了へて來鮮し不日更に南洋へ向て出張に付下名等發起となり同君の爲めに晚餐會相催度候間御希望の方は御出席相成度此段謹告候也
會場　京城ホテル
時刻　六月一日午後六時
會費　三圓
申込所　朝鮮研究會　電話一九三〇
京城ホテル　電話一二三
（但シ三十一日午後六時申込締切）
發起人　明石元二郎　小宮三保松

代診志望
姓名本社

購買公告
一 緖色木綿四千反外貳點
右購買ヲ競爭入札ニ付ス詳細ハ五月二十九日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ
明治四十四年五月三十日
朝鮮總督府

名譽賞金牌有功賞金牌受領
ボート

弊所は從來端艇製造販賣致居候處多大の御愛用を蒙り奉々謝候尙精々勉强可仕候間續々御用命を乞ふ
新造ボート長さ一丈三尺三四人乘附屬品付金二十四圓長さ一丈一尺三三人乘附屬品付金二十圓
中古ボート賣物有り金十四五六圓迄種々有尙學校用運動用其他貸船用各種有何卒御注文奉願上候但し御申込の際金高の二割手前納の事
大阪市西區難波島町二十五番地
製造販賣　山下造船所

入院隨意
京城西小門通六番戶
菅醫院
電話一三一五番

朝鮮紳士錄
豫約募集
朝鮮總督府警務總監部屆濟（交詢社式）
總クロース金文字入　菊版千ページ內外
定價一部　金五圓
豫約特價　前金一部　金參圓
申込締切期日　六月三十日
發刊　七月三十一日
登載事項　政治家、軍人、官公吏、經濟財政家、實業家、工業家、農業家、醫師、辯護士、敎育家、宗敎家、美術家、新聞記者
以上の外朝鮮總督府、中央の方々道、軍司令部、師團司令部、各民團、各商業會議所、各國領事館職員錄及び銀行會社、學會、敎會、寺院、協會、倶樂部等の要錄等を併載致候
本社は一昨四十二年を以て第一朝鮮紳士錄發刊の企を爲し幸に江湖各位の御贊同を得て其業を完ふ致し候、爾來年を重ねること二、此間日韓併合の事あり世は一變に新となり、從つて新舊人物の入替等も多々有之候就ては本社は時世の必要に應ぜんが爲め前版を改訂增補し第二朝鮮紳士錄を發刊することゝ仕候思ふに本紳士錄が半島及び內地に於て信用調査其他交際取引等に汎く便用せらるべきは過去の經驗に徵して明かなるところに有之候仰ぎ願はくば江湖の各位幸に本社の微志を諒とせられ續々豫約御申込相成本社今回の舉を御援助あらんことを茲に謹みて公告仕候
三月　朝鮮京城西小門通り
京城新報社朝鮮紳士錄出版部
電話六六三番　振替口座京城四五六番

明治六年設立
資本金　一千萬圓
積立金　六百〇五萬圓
株式會社第一銀行
京城南山町三丁目
銀行一般の業務は確

夏期好飲料
水道
製
飲用適當
室內
並

제690호 1911. 5. 30.

初夏の趣きと食道樂

新綠やうやく濃やか…
よろしくビール猶よ…
下戸に取るものとし…
例によりて移り更るイ…
一新し益々其本領を擧…
謹て一般れ得意樣に御披…
顧れば開業以來茲に三年厚…
るきをなし得らるゝの齢に達…
を顧みず敢て時流に反し曾て其…
禁物と云ふ商賣柄になき大膽なる…
はず權勢に諂らす毅然として同業者…
を開きたるは聊か期する處ありたるも…
元より思ひ至らず窃かに前途を懸念した…
殺さずの譬の通り幸にも世上の同情厚く斯…
をも捨て給はず案外にも夜を日に繼での繁昌…
數多き老舗と並び稱せられ京城名物と迄歌はるゝに至…
果ては酒道樂飯道樂鍋道樂と數多の道樂兄弟相繼いで起…
り候程の道樂と云ふ名を呼び物となる迄に至り候は一は
時運の漸く眞面目に趣くに會したる僥倖たるも大方顧客
の賜に非さるよりは斯る盛況を見る事能さる處に有之候
されば今後は猶一層從來の方針を遂行し平素御高顧の萬
一に酬ん事を期し候間何卒倍舊御愛顧御引立の程希上候

食道樂の特色

市の中央四通八達の便利の位置を占めしかも市中の喧噪を餘所に南山の風光を懷にしたる閑雅の別天地をなし居れり色氣禁制傲奢禁物を第一の掟とし老幼男女質素に心安く一日の御遊に適すべく殊に早朝よりしつらひ置ける風呂は衛生上御客樣毎に新に仕立設備致し候
一般料理の外壽司及うなぎは別に板場を設け新に内地より其途專門の料理人を呼寄せ一層盛んに如何なる多數の御注文も即時相調へ候準備いたし又高評を博したるアイスクリームは六月より相始め候
出前は殊に勉強し御便利を計可申道の遠近ヶ問はず御注文の多少ゝ論せす迅速に御用相達し園遊會模擬店等は大に意匠を凝らし新趣向を案出し萬端拔目なき設備いたし候
但しアイスクリームの前出は遠方に限り五杯以上御注文願上候

道樂 電話九四四番